

9 森林の働きや利用について

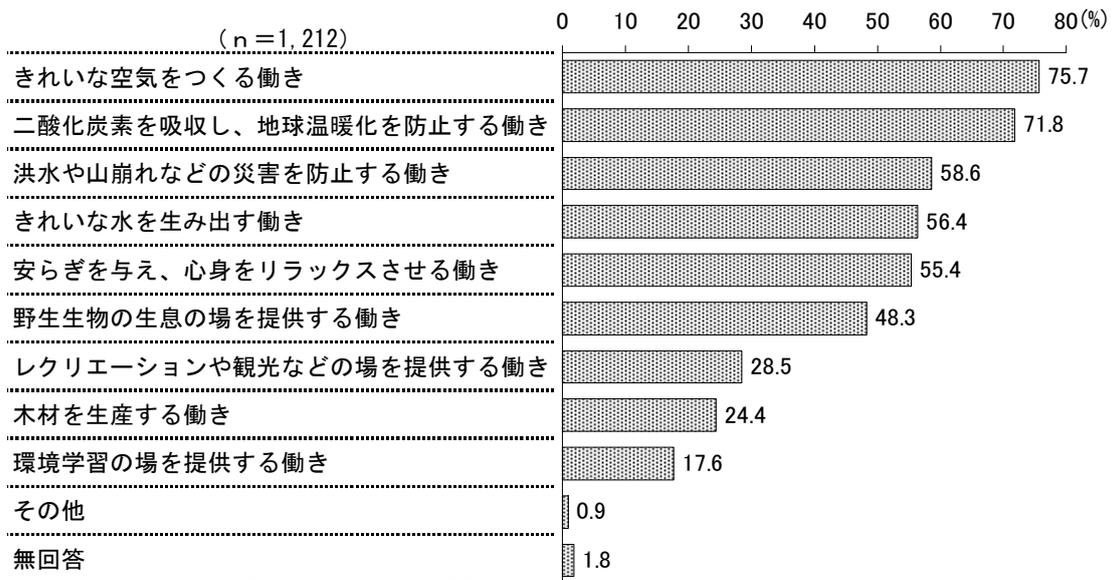
（1）森林に期待する働き

◇「きれいな空気をつくる働き」が7割台半ば

今後、県が森林行政の施策を展開していくに当たり、県民の皆さまの意向に合った効果的な取組が行えるよう、森林に期待する働きなどについて、県民の皆さまのご意見をお聞きいたします。

問33 あなたは、森林に対して主にどのような働きを期待しますか。（〇はいくつでも）

<図表9-1> 森林に期待する働き（複数回答）



森林に対して主にどのような働きを期待するか聞いたところ、「きれいな空気をつくる働き」（75.7%）が7割台半ばで最も高く、以下、「二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き」（71.8%）、「洪水や山崩れなどの災害を防止する働き」（58.6%）、「きれいな水を生み出す働き」（56.4%）、「安らぎを与え、心身をリラックスさせる働き」（55.4%）が続く。（図表9-1）

【地域別】

地域別にみると、「野生生物の生息の場を提供する働き」は“印旛地域”（59.6%）が約6割で高くなっている。（図表9-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「洪水や山崩れなどの災害を防止する働き」は女性の60～64歳（72.3%）が7割を超え、女性の50代（68.8%）が約7割で高くなっている。

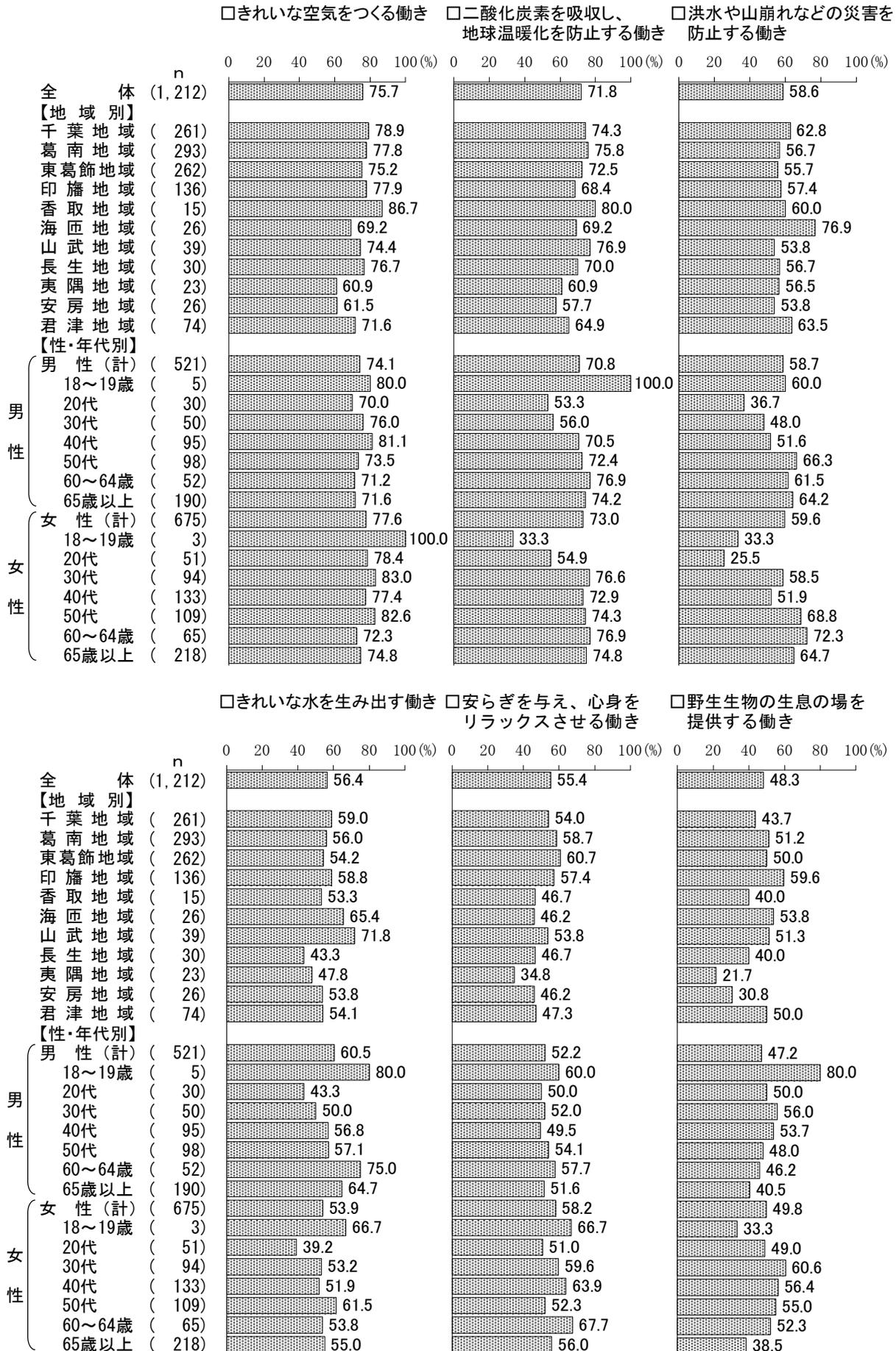
「きれいな水を生み出す働き」は男性の60～64歳（75.0%）が7割台半ば、男性の65歳以上（64.7%）が6割台半ばで高くなっている。

「安らぎを与え、心身をリラックスさせる働き」は女性の60～64歳（67.7%）が約7割、女性の40代（63.9%）が6割台半ばで高くなっている。

「野生生物の生息の場を提供する働き」は女性の30代（60.6%）が6割で高くなっている。

（図表9-2）

<図表9-2> 森林に期待する働き（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

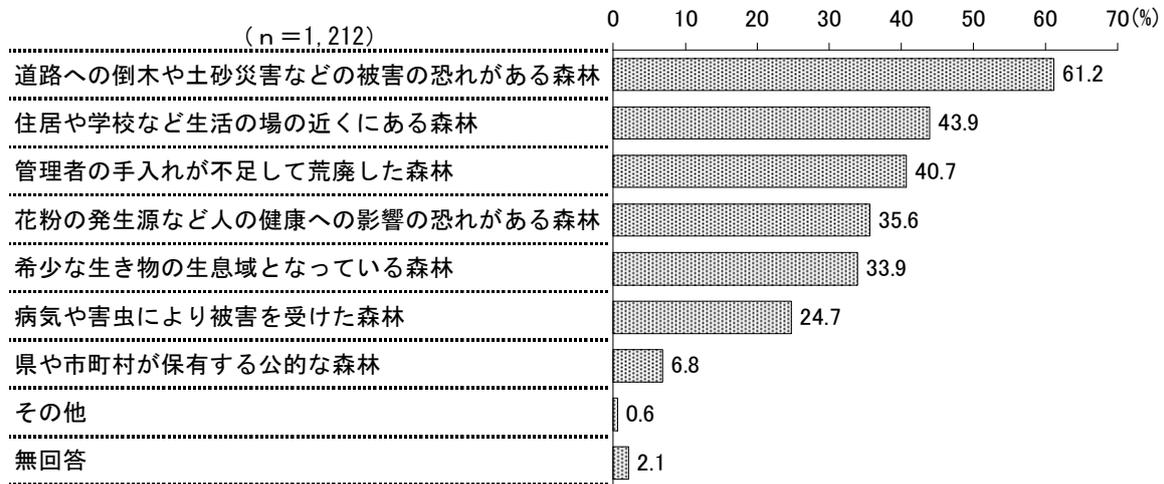


（2）優先して整備して欲しい森林

◇「道路への倒木や土砂災害などの被害の恐れがある森林」が6割を超える

問34 あなたは、どのような森林を優先して整備して欲しいと思いますか。（○は3つまで）

<図表9-3>優先して整備して欲しい森林（3つまでの複数回答）



どのような森林を優先して整備して欲しいか聞いたところ、「道路への倒木や土砂災害などの被害の恐れがある森林」（61.2%）が6割を超えて最も高く、以下、「住居や学校など生活の場の近くにある森林」（43.9%）、「管理者の手入れが不足して荒廃した森林」（40.7%）、「花粉の発生源など人の健康への影響の恐れがある森林」（35.6%）が続く。（図表9-3）

【地域別】

地域別にみると、「道路への倒木や土砂災害などの被害の恐れがある森林」は“夷隅地域”（82.6%）が8割を超え、“山武地域”（76.9%）が7割台半ばで高くなっている。

「管理者の手入れが不足して荒廃した森林」は“長生地域”（66.7%）が6割台半ば、“山武地域”（61.5%）が6割を超えて高くなっている。

「希少な生き物の生息域となっている森林」は“東葛飾地域”（40.5%）が4割で高くなっている。（図表9-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「道路への倒木や土砂災害などの被害の恐れがある森林」は女性の60～64歳（75.4%）が7割台半ばで高くなっている。

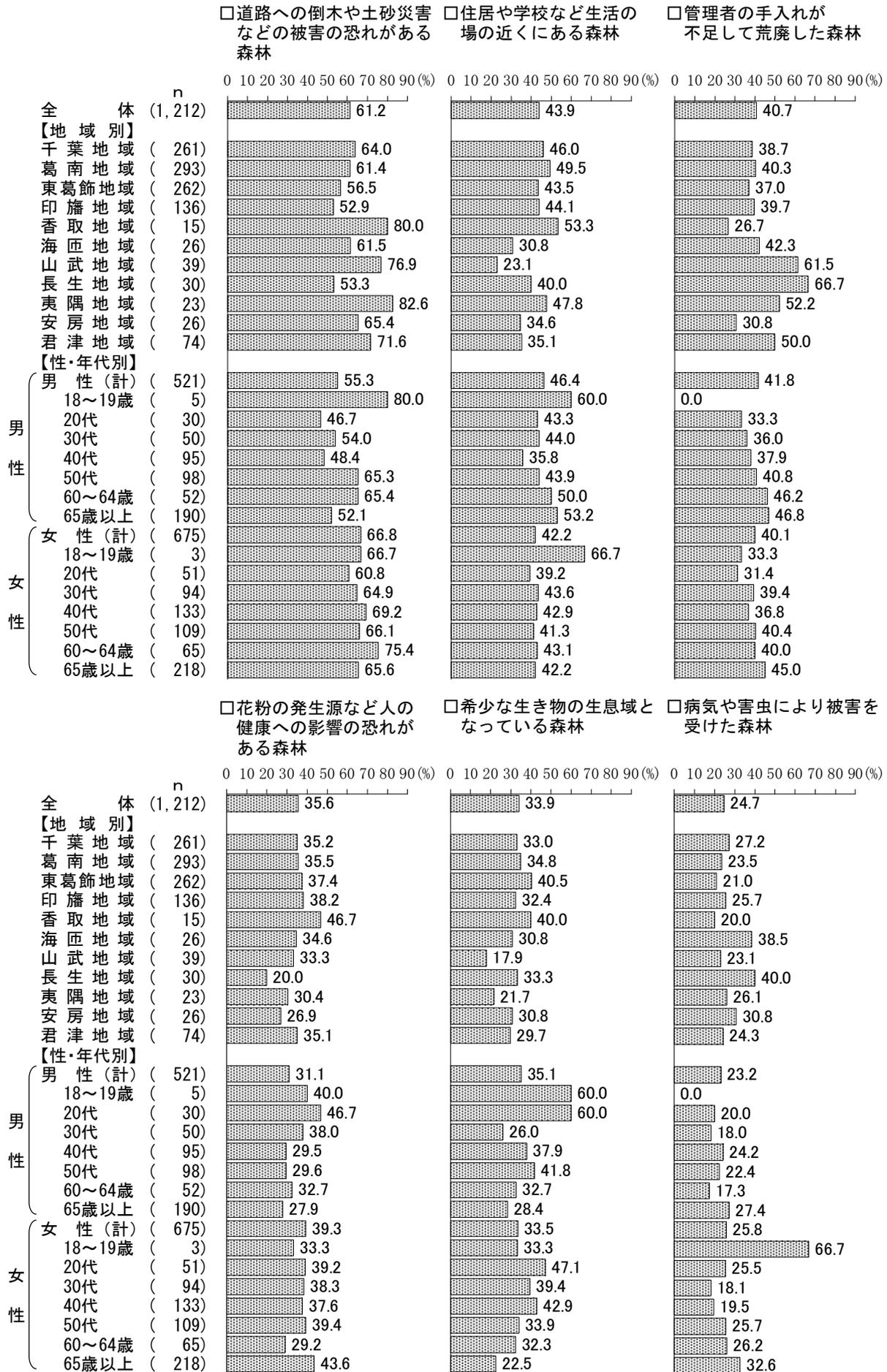
「住居や学校など生活の場の近くにある森林」は男性の65歳以上（53.2%）が5割を超えて高くなっている。

「花粉の発生源など人の健康への影響の恐れがある森林」は女性の65歳以上（43.6%）が4割台半ばで高くなっている。

「希少な生き物の生息域となっている森林」は男性の20代（60.0%）が6割、女性の20代（47.1%）が約5割、女性の40代（42.9%）が4割を超えて高くなっている。

「病気や害虫により被害を受けた森林」は女性の65歳以上（32.6%）が3割を超えて高くなっている。（図表9-4）

<図表9-4>優先して整備して欲しい森林（3つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

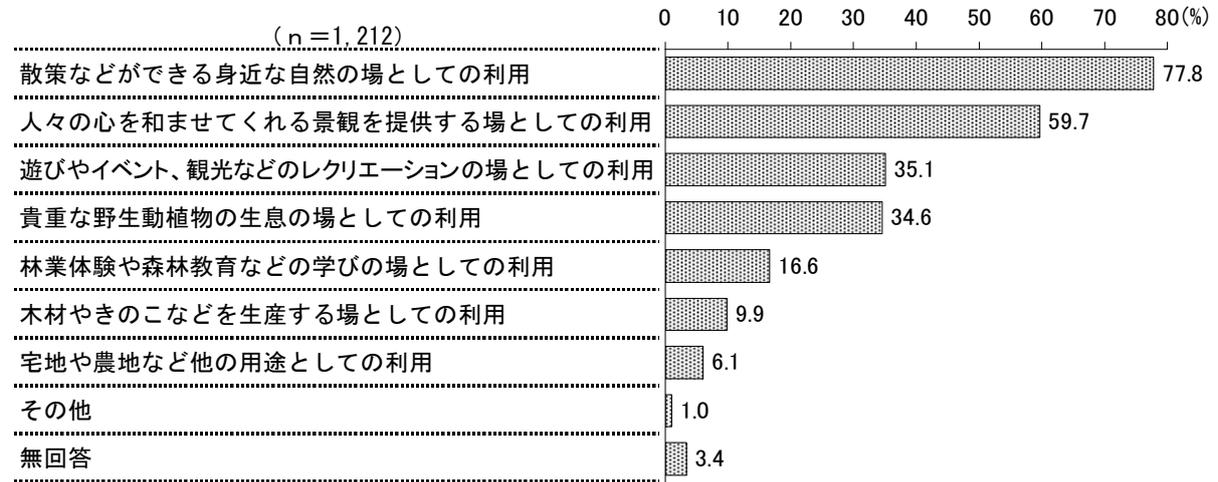


（3）身近な森林について期待する利用方法

◇「散策などができる身近な自然の場としての利用」が約8割

問35 あなたは、住居や学校など生活の場の近くにある身近な森林について、どのように利用されることを期待しますか。（○はいくつでも）

<図表9-5> 身近な森林について期待する利用方法（複数回答）



生活の場の近くにある身近な森林について、どのように利用されることを期待するか聞いたところ、「散策などができる身近な自然の場としての利用」（77.8%）が約8割で最も高く、以下、「人々の心を和ませてくれる景観を提供する場としての利用」（59.7%）、「遊びやイベント、観光などのレクリエーションの場としての利用」（35.1%）、「貴重な野生動植物の生息の場としての利用」（34.6%）が続く。（図表9-5）

【地域別】

地域別にみると、「散策などができる身近な自然の場としての利用」は“葛南地域”（82.9%）が8割を超えて高くなっている。

「遊びやイベント、観光などのレクリエーションの場としての利用」は“香取地域”（60.0%）が6割で高くなっている。

「木材やきのこなどを生産する場としての利用」は“海匝地域”（23.1%）が2割を超えて高くなっている。（図表9-6）

【性・年代別】

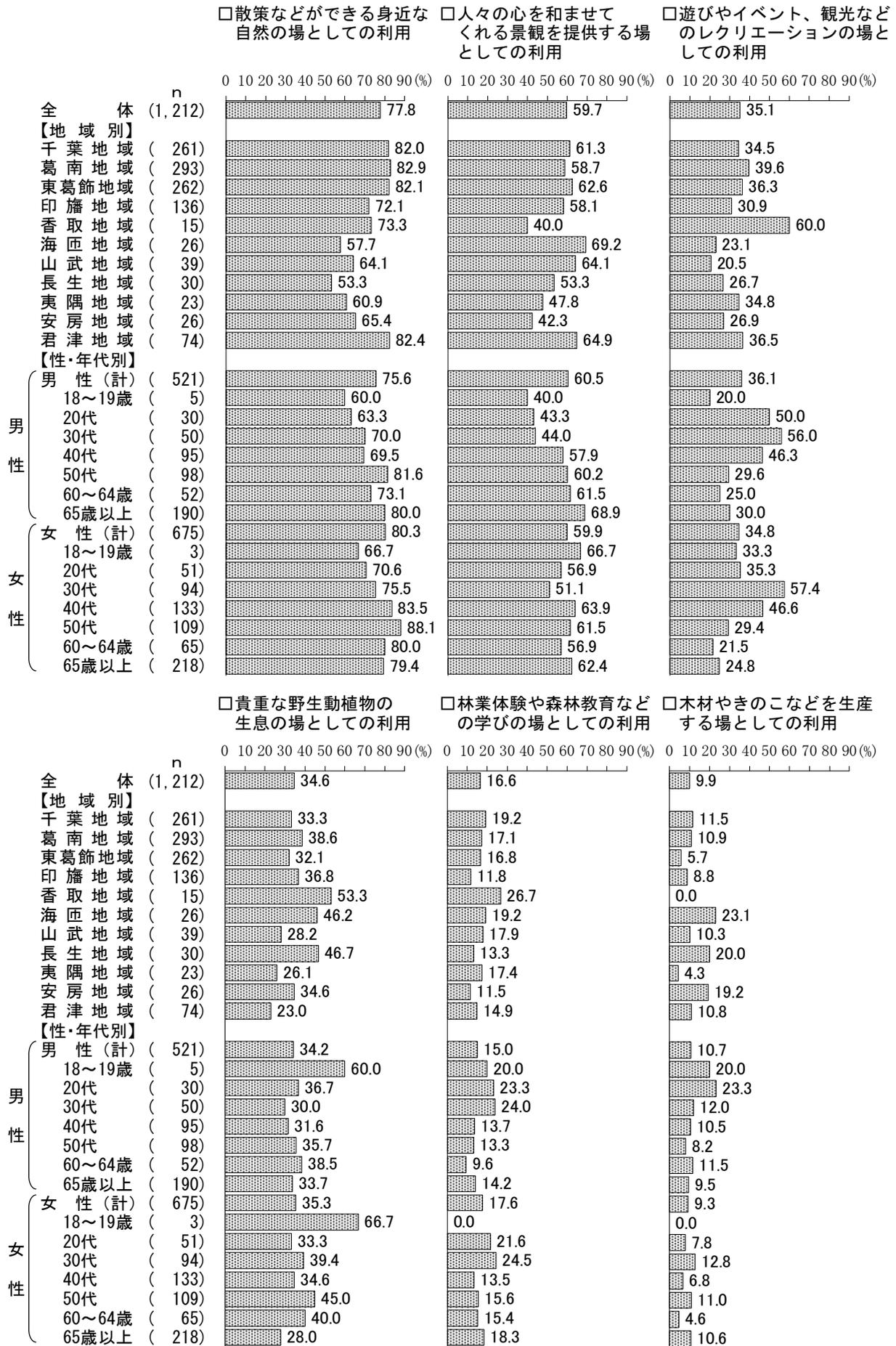
性・年代別にみると、「散策などができる身近な自然の場としての利用」は女性の50代（88.1%）が約9割で高くなっている。

「人々の心を和ませてくれる景観を提供する場としての利用」は男性の65歳以上（68.9%）が約7割で高くなっている。

「遊びやイベント、観光などのレクリエーションの場としての利用」は女性の30代（57.4%）が約6割、男性の30代（56.0%）が5割台半ば、男性の40代（46.3%）と女性の40代（46.6%）が4割台半ばで高くなっている。

「貴重な野生動植物の生息の場としての利用」は女性の50代（45.0%）が4割台半ばで高くなっている。（図表9-6）

＜図表9－6＞身近な森林について期待する利用方法（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

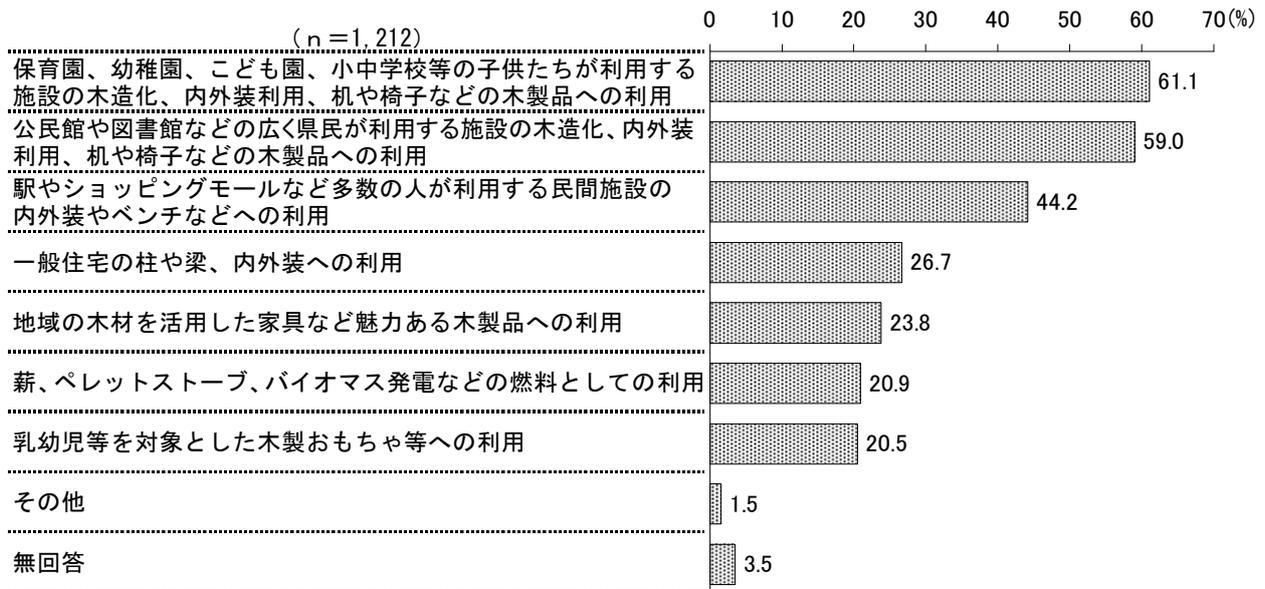


（４）県内で生産される木材に期待する利用方法

◇「保育園、幼稚園、こども園、小中学校等の子供たちが利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」が6割を超える

問36 あなたは、森林整備などにより県内で生産される木材について、どのように利用されることを期待しますか。（〇はいくつでも）

＜図表 9－7＞県内で生産される木材に期待する利用方法（複数回答）



県内で生産される木材について、どのように利用されることを期待するか聞いたところ、「保育園、幼稚園、こども園、小中学校等の子供たちが利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」(61.1%)が6割を超えて最も高く、以下、「公民館や図書館などの広く県民が利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」(59.0%)、「駅やショッピングモールなど多数の人が利用する民間施設の内外装やベンチなどへの利用」(44.2%)、「一般住宅の柱や梁、内外装への利用」(26.7%)が続く。(図表 9－7)

【地域別】

地域別にみると、「一般住宅の柱や梁、内外装への利用」は“海匠地域”(46.2%)が4割台半ば、“君津地域”(37.8%)が約4割で高くなっている。(図表 9－8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「保育園、幼稚園、こども園、小中学校等の子供たちが利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」は女性の30代(76.6%)が7割台半ば、女性の50代(70.6%)が7割で高くなっている。

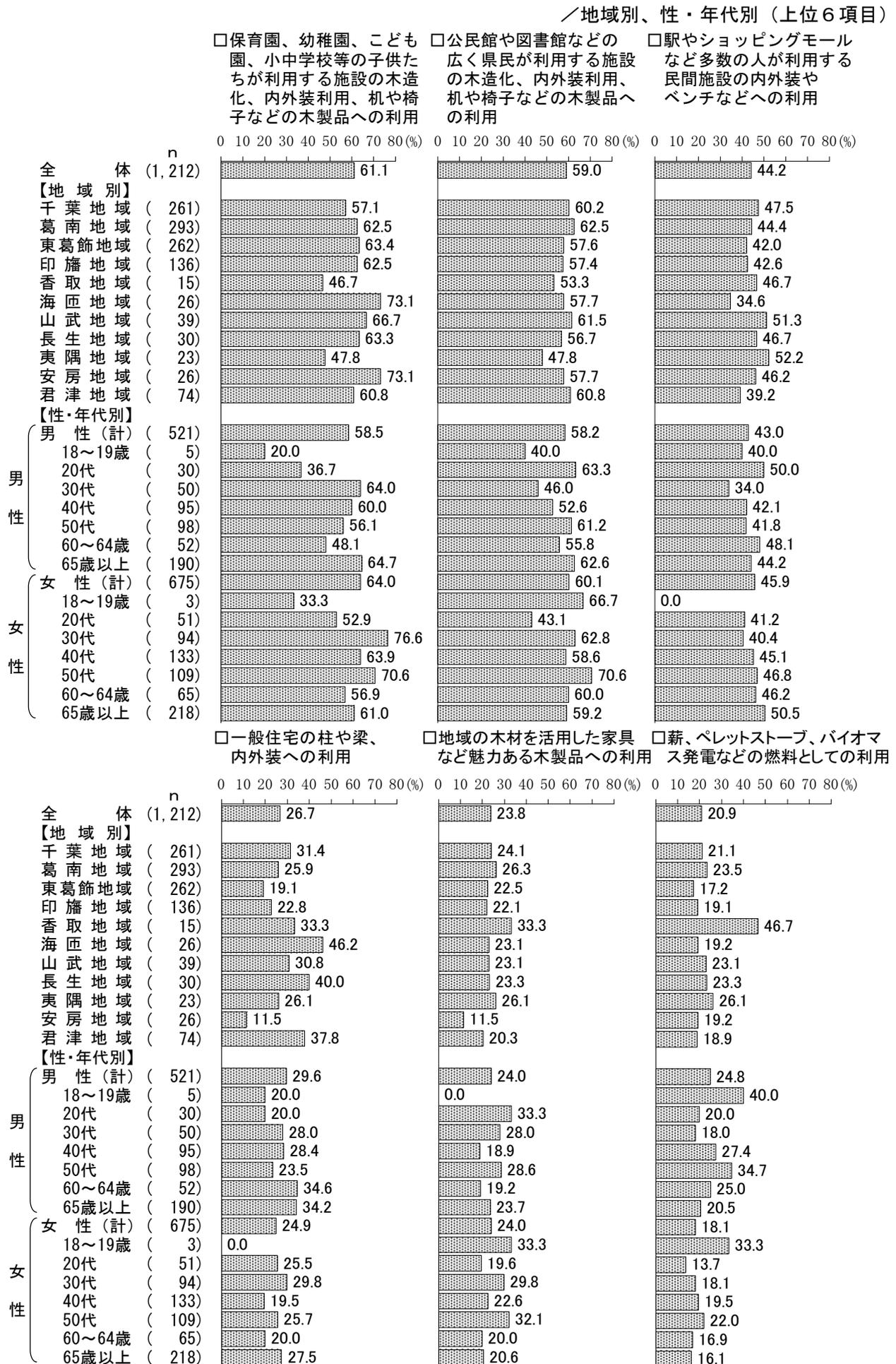
「公民館や図書館などの広く県民が利用する施設の木造化、内外装利用、机や椅子などの木製品への利用」は女性の50代(70.6%)が7割で高くなっている。

「一般住宅の柱や梁、内外装への利用」は男性の65歳以上(34.2%)が3割台半ばで高くなっている。

「地域の木材を活用した家具など魅力ある木製品への利用」は女性の50代(32.1%)が3割を超えて高くなっている。

「薪、ペレットストーブ、バイオマス発電などの燃料としての利用」は男性の50代(34.7%)が3割台半ばで高くなっている。(図表 9－8)

＜図表9－8＞県内で生産される木材に期待する利用方法（複数回答）

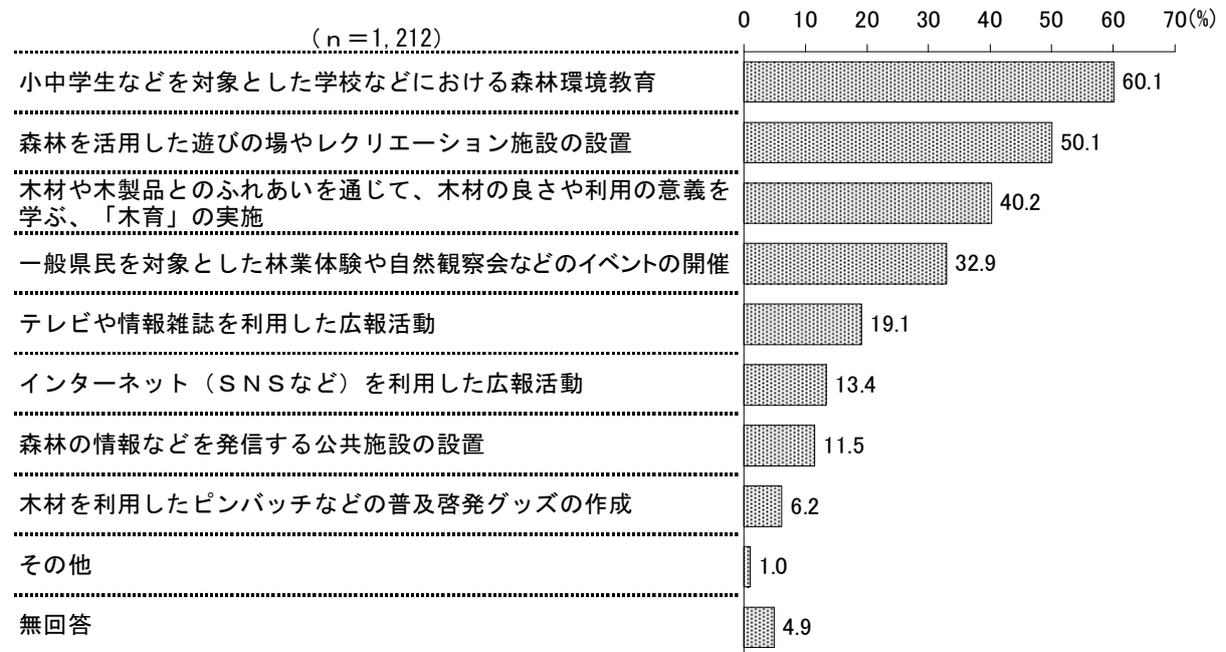


（5）森林整備等を促進する普及啓発の効果的な取組

◇「小中学生などを対象とした学校などにおける森林環境教育」が6割

問37 あなたは、森林整備や木材利用などを促進する普及啓発について、どのような取組が効果的だと思いますか。（〇はいくつでも）

＜図表 9－9＞森林整備等を促進する普及啓発の効果的な取組（複数回答）



森林整備や木材利用などを促進する普及啓発について、どのような取組が効果的か聞いたところ、「小中学生などを対象とした学校などにおける森林環境教育」（60.1%）が6割で最も高く、以下、「森林を活用した遊びの場やレクリエーション施設の設置」（50.1%）、「木材や木製品とのふれあいを通じて、木材の良さや利用の意義を学ぶ、『木育』の実施」（40.2%）、「一般県民を対象とした林業体験や自然観察会などのイベントの開催」（32.9%）が続く。（図表 9－9）

【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表 9－10）

【性・年代別】

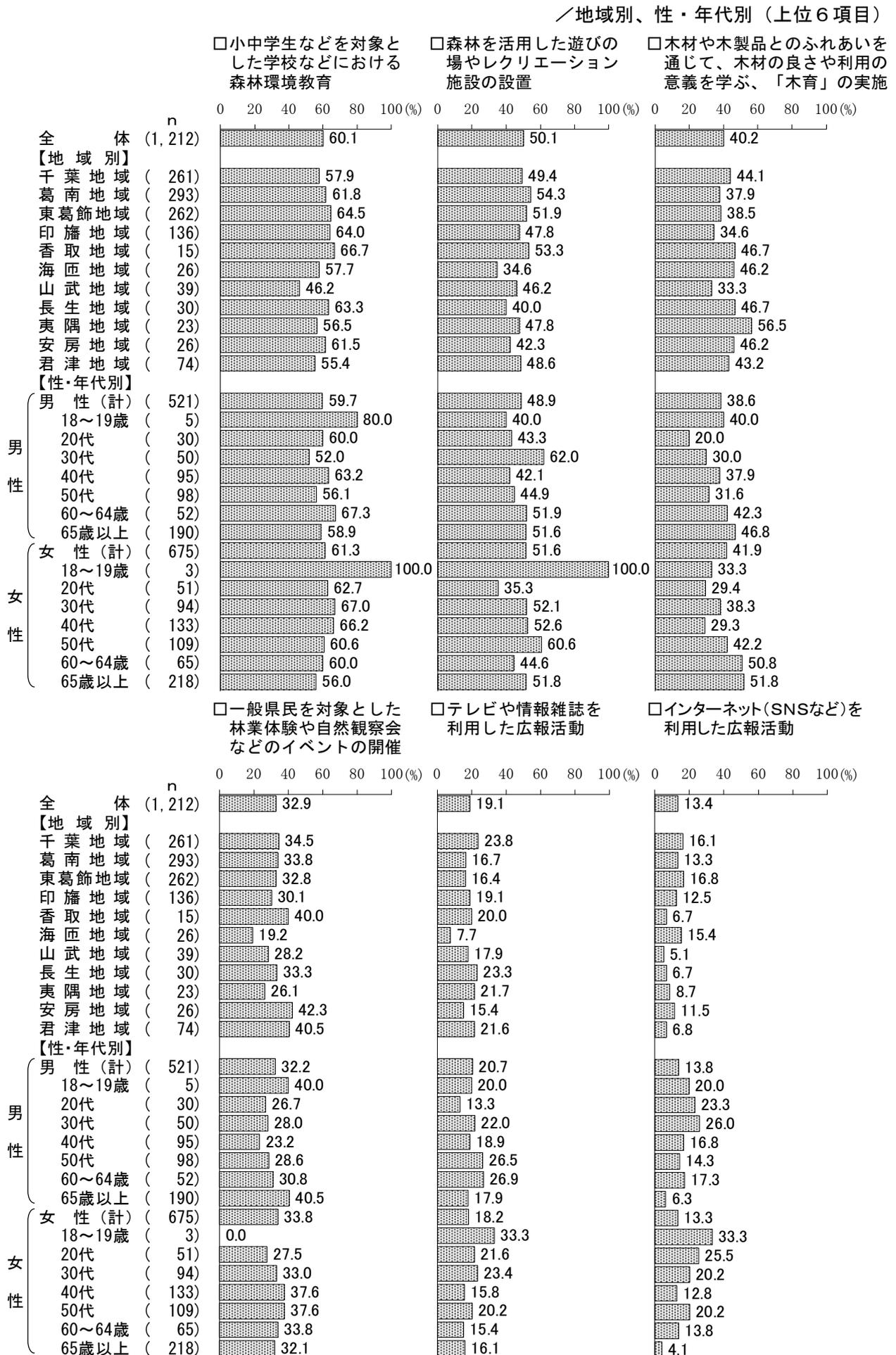
性・年代別にみると、「森林を活用した遊びの場やレクリエーション施設の設置」は女性の50代（60.6%）が6割で高くなっている。

「木材や木製品とのふれあいを通じて、木材の良さや利用の意義を学ぶ、『木育』の実施」は女性の65歳以上（51.8%）が5割を超えて高くなっている。

「一般県民を対象とした林業体験や自然観察会などのイベントの開催」は男性の65歳以上（40.5%）が4割で高くなっている。

「インターネット（SNSなど）を利用した広報活動」は男性の30代（26.0%）と女性の20代（25.5%）が2割台半ば、女性の50代（20.2%）が2割で高くなっている。（図表 9－10）

＜図表9-10＞森林整備等を促進する普及啓発の効果的な取組（複数回答）



このほかに、「森林の働きや利用」やここまでの質問（問33～問37）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、60人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「森林の働きや利用」の自由回答（抜粋）

- 森林は大事なので出来るかぎり自然のままに、しかし人間に災害のある時はしっかりと整備して、生きもの達と共存していきたい。（女性、30代、千葉地域）
- 開発で生き物の生息地域が減っているところもあるようなので、共存できることが大切だと思う。（女性、50代、山武地域）
- 森林の働きを考える時、地球温暖化は切り離せない問題かと思います。気候変動によって及ぼす災害を予防しなければなりません。（男性、50代、山武地域）
- 「木育」については子どもの発育、発達に影響があるとのことですので、木製のおもちゃの普及を望みます。県から、出産時のお祝いに千葉県材木で作ったおもちゃのプレゼントをあげる、というのはいかがでしょうか。（女性、50代、東葛飾地域）
- 森林は千葉県の大変な資源だと思うので、増やす、育てる、活かすを実践してくれたら嬉しいです。（男性、30代、東葛飾地域）
- 木の良さは分かっているが、結局活用するにはコストがかかりすぎるので使用できない。もっと低料金になれば、もっと活用されると思う。（女性、50代、東葛飾地域）
- ボランティアを募集して森林整備をしたら良いと思います。また、ハイキングなどをできるようにしたら良いと思います。（女性、60～64歳、君津地域）
- 伝統工芸や木工品、若手作家等の育成支援やベンチャー起業支援。（女性、50代、葛南地域）
- 人口減少に伴い、管理者不在の森林や、荒廃した森林が増えていくのではないかとの懸念がありますが、その中でも森林の整備や有効利用を管理者、所有者と話し合いながら、自治体とともに進めていくことが必要かと思います。（女性、60～64歳、葛南地域）
- 休息できるスペースや、緑を感じられるように整備してもらいたい。（女性、40代、葛南地域）